

お時間になりましたので、令和5年度アドバイザー派遣事業説明会を開始いたします。  
私は本日の進行を務めます、本事業事務局のNPO法人新座子育てネットワークの池田と申します。  
よろしくお願いいたします。

本日の流れとして、ご覧の通り

- 1、子供の居場所とは
- 2、埼玉県の子供の居場所の現状
- 3、こどもの居場所づくりアドバイザーとは
- 4、昨年度の実績
- 5、アドバイザー派遣、実地研修の流れ
- 6、アドバイザー派遣等実地研修の利用方法について
- 7、フォーム、LINEでの申し込み方法。
- 8、こども応援ネットワーク埼玉について、となっております。

終了後にはアンケートをお願いしております。  
後程チャットにアンケートフォームのリンク先をお送りしますので、ご確認ください。

では早速一番からご説明いたします。  
内閣府によると、子供の居場所とは家でも学校でもなく、居場所と思えるような場所とされています。  
近年子供を取り巻く環境やその課題は複雑化かつ深刻化しています。  
地域の繋がりが希薄になっている中で、家庭や学校だけでは解決が難しく、そもそもその困難が、家庭や学校に起因する場合も少なくありません。

さらには新型コロナウイルスの影響で、困窮家庭での子供の育ちには厳しさが増えています。  
こうした社会状況のもと、安心して食事や遊び、学びを通じて、地域の大人と出会える場所が必要とされています。

代表的な子供の居場所として、安心しておいしいご飯が食べられる子ども食堂、家庭の事情で十分に通えない子供や、学校の先生に何を聞いたらいいのかわからない子供のための学習支援、赤ちゃんからお年寄りまで、自然の中で生きる力を育むプレーパーク。  
この三つが代表的な居場所として定義されています。

こちらに加えまして、埼玉県内では無料で食品提供を行うフードパントリーも子供の居場所に準ずるものとされています。  
フードパントリーとは、子育て中のひとり親家庭や生活困窮家庭へ食料品を提供する支援活動のことを言います。

子供の居場所づくりは、子供たちの安心安全を守るための最低限のルールを除き、こうあるべきといったものではありません。  
例えば、子ども食堂では、食事提供のみ、無料塾は学習支援のみといった決まりはありません。  
そのため、開催場所や開催日時は様々です。  
個人はもちろん企業NPO法人、医療法人、協同組合など、多くの団体が開設、運営をしています。  
行政が主体となって行うのではなく、皆様の子供たちのために何かしたい。  
といった自発的な思いから、子供の居場所ができています。

2番、埼玉県の子供の居場所の現状を説明いたします。  
ご覧のグラフは埼玉県内の子供の居場所の数を表すグラフになっています。  
こちらのグラフにある通り、平成29年には76ヶ所だったところが、令和2年8月には372ヶ所、去年の3月に行った調査では520ヶ所になっていました。  
埼玉県ではこの数を800ヶ所にしようという取り組みをしています。  
この800ヶ所という目標は、県内の小学校と同じ数になっています。  
県内の小学校と同じ数だけ居場所があれば、子供たちが1人で歩いていけるのではないかとということで、800ヶ所を目標としております。

3番、こどもの居場所づくりアドバイザーについて説明いたします。  
子供の居場所づくりをしてみたいけどやり方がわからない。  
そのような皆様のために、こどもの居場所づくりアドバイザーが、不安や心配事解消のお手伝いをいたします。

子供の居場所とはどういうものなのかといったことから、子供の居場所の広報の仕方、効果的なチラシの作り方やSNSの活用方法、立ち上げ準備に必要なことや、活動資金の集め方、各種助成金の申請方法等について知りたい、また実際に活動している間を見たいという方たちを支援するために、アドバイザー制度が作られました。

埼玉県では、子供の居場所づくりの実践者や食品衛生、広報、福祉制度などの専門家を、こどもの居場所づくりアドバイザーに任命して、居場所づくりをする個人、グループ団体等を支援する子供の居場所づくり推進事業を、令和元年度、平成31年4月から実施しています。

アドバイザーが、皆様のもとに訪問して助言するものを派遣と呼んでいます。  
アドバイザーが実践している居場所活動を見学体験していただくものを実地研修と呼んでいます。  
この二つの支援を通じまして、子供の居場所の立ち上げ前の準備や課題解決、立ち上げ後のフォローアップなどを無料で行っています。  
こちらの詳しいご利用方法などは、後程ご紹介、ご説明いたします。

昨年度のアドバイザー制度の実績をご紹介します。  
昨年度の居場所づくりに関する依頼件数は、アドバイザー派遣が153件、実地研修が26件。  
合計179件のご依頼をいただきました。  
こちらの内訳は、左下の表を見ていただくと、子ども食堂のアドバイザー派遣が69件。  
そしてフードパントリーも近年大変多く相談をいただいております、46件となっております。  
その他、学習支援、プレーパークともご覧の通りになっています。

また右下の表は、実地研修の実績表ですが、実地研修については、子ども食堂17件、フードパントリー5件、学習支援とプレーパークはそれぞれご覧の通り、実地研修が行われました。

アドバイザー派遣事業による子供の居場所の新規開設件数ですが、昨年度179件のアドバイザー派遣を行った中で、新たに34件の子供の居場所が開設されました。  
その内訳は、子ども食堂19件、フードパントリー11件、学習支援2件、その他、コミュニティカフェなどが2件となっております。  
さらに、アドバイザー派遣を利用し、アドバイスを受けながら、新規開設に向けて準備中の居場所もありますので、今後さらに増えていく予定です。

昨年度のアドバイザー派遣事業による主なアドバイス内容は、ご覧の通りになります。  
どのような相談が多かったかということをご紹介します。  
どんな思いで、どのような体制で居場所活動をしているかなど、それぞれの居場所のご説明や、運営場所の確保や、コロナ禍で密にならないような対策方法についてのアドバイス。

立ち上げ準備について、例えば子ども食堂やフードパントリーでしたら、食材はどのように準備するのか。  
また、自治体や地域の自治会、学校等との連携はどうしたらいいのかなどといった相談、スタッフの集め方や、スタッフの役割分担についてのアドバイス。  
調理や食事提供における食中毒への注意や、アレルギーへの対応など、衛生管理のアドバイス。  
子ども食堂やフードパントリーに来られる利用者さんに対してのアプローチ方法や対応の仕方等のアドバイス。  
広報については、チラシの作り方や、どんな場所でチラシを配布するのが効果的なのか。  
安心してきていただくための周知の仕方、方式lineアカウントなどのSNSを使った広報について、多岐にわたってアドバイスしていただいています。  
最後に、資金助成券についてですが、すべての居場所に必要な活動資金の準備についてのアドバイス。  
助成金などは、募集期間や申請期間が決まっているものがほとんどですので、申請するタイミングや、どんな団体が、どのような運営をしていたら申請が通って助成金があるのか。  
そういった踏み込んだアドバイスもしていただいています。

昨年度、アドバイザー派遣、実地研修を利用された方からのアンケートをご紹介します。  
とても丁寧で寄り添ったアドバイスがもたらした。  
フードパントリーの仕組みを理解することができた。  
これでいいのかと小さなことでも悩んでしまう立ち上げ機に、背中を押してもらった。  
実際に運営されている方からアドバイスや助言、実地を見ていただけるというのは大変ありがたい。  
今後も学び続けたいと思う。  
以下、割愛させていただきますが、たくさんのお喜びの声をいただいています。

アドバイザー派遣、実地研修の流れがご覧の図となっています。  
まず、子供の居場所を作りたいという方から、インターネットの申し込みフォームやお電話、LINEにて事務局へお申し込みをいただきます。  
お申し込みをいただきましたら、事務局からお電話やメール等で詳しいご相談内容のヒアリングを行い、ご希望の日程を伺います。  
その後事務局でアドバイザーを選定し、そのアドバイザー等に行き調整を行います。  
日程の調整が完了したら、事務局から被害者様へ詳細をご連絡いたします。

アドバイザー派遣の場合は、実際にアドバイザーが皆様のもとにお伺いするほか、オンラインでのアドバイザー派遣を行っております。  
今お使いのZoomやフェイスブックのメッセンジャーなどといった顔が見られるアプリを使用して、アドバイザー派遣を行うことも可能です。  
人事研修の場合は、アドバイザーが運営している子供食堂やフードパントリー、学習支援など、お近くの場所を調べまして、開催している日にち等をご案内し、実地研修をしていただいています。  
皆様からこのアドバイザーさんのお話を聞きたいと言った氏名等がありましたら、優先的にコーディネートしていますが、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

アドバイザー派遣等実地研修の利用方法についてご説明いたします。  
まず、①、アドバイザー派遣は2回までご利用いただけます。  
こちらは1回につき大体1時間程度となります。  
続きまして、②、実地研修も2回までご利用いただけます。  
実際に運営されている居場所の中には、利用対象者を生活困窮家庭やひとり親家庭等といった課題のあるご家庭に限定しているため、一般の方には公開していないという場所も大変多いのですが、こちらの実地研修の制度を使っていただくと、そういった場所にも実際にご案内し、中に入って見学やボランティア活動をしていただくことができます。

実地研修は、アドバイザーが実際に子ども食堂やフードパントリーを運営している日に行うため、アドバイザーが利用者の対応で1日追われてしまって、アドバイスの時間が思うように取れないという状況が多くなっております。  
もし実地研修を行った際に、気になる点や聞きたいことなどがありましたら、別の日に改めてアドバイザー派遣を設けていただきますので、ご了承ください。

こちらのアドバイザー派遣2回、実地研修2回というのは、一つの分野に対しての上限回数となります。  
子ども食堂でのアドバイス2回、実地研修2回を受けたいけれど、アドバイスや現場を見て、学習支援の方が向いているかもしれないので、学習支援についても相談したい。  
そういった相談する分野が変わる場合には別カウントとなりますので、新たに学習支援についてのアドバイザー派遣に変え、実地研修2回を受けることができます。  
また、依頼者様がご希望の場合は、実地研修2回の代わりにアドバイザー派遣を1回ふやすこともできるようになっています。

アドバイザー派遣の回数は年度毎にカウントしています。  
昨年度利用された方も回数がリセットされていますので、ぜひご活用ください。  
こちらすべて無料でご利用いただけます。

今ご説明したアドバイザー派遣実地研修の申し込み方法についてです。  
まず、申し込みフォームからの申し込みについてです。

画面に表示されている、右上①のQRコードを読み込んでいただくと、お申し込みフォームが開きますので、そちらに必要な事項を入力し、お申し込みください。

また昨年度から、こども応援ネットワーク埼玉の公式LINEを開設しました。

公式LINEでは、子供の居場所に関する様々な情報を届けるほか、こどもの居場所づくりアドバイザーの派遣、実地研修の申し込み窓口にもなっています。

こちらは画面右下、②のQRコードを読み込んでいただくか、URLからお友達登録をお願いいたします。

アドバイザー派遣実地研修のお申し込みを希望される場合には、トーク画面右下の、アドバイザー派遣の申し込みはこちら、というボタンをタップしてください。

申し込みフォームの入力方法等がわからない場合は、電話もしくはファックスでも対応しておりますので、事務局までご連絡いただければと思います。

次に、こども応援ネットワーク埼玉のサイトのご案内です。

こちらは埼玉県公式サイトになっておりまして、子供の居場所づくりに役立つ情報が満載となっております。

先ほどのアドバイザー派遣の申し込みフォームやLINEのQRコードもこちらのサイトにございます。

こども応援ネットワーク埼玉のサイトは順次更新しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

サイトには、埼玉県内の子供の居場所マップというものもございまして、どの地域にどんな居場所があるのか。

地図上でご覧いただくことができます。

市町村の名前をクリックしていただくと、その市町村にある子供の居場所の一覧が表示され、それぞれの居場所の情報を見ることができます。

ぜひ、お住まいの市町村やお近くの市町村にどのくらい子供の居場所があるのか、ご覧になってみてください。

さらに、子供の居場所の立ち上げに役立つスタートブック、県内にある子供の居場所をご紹介する事例集も、こちらのサイトの資料、動画のページからダウンロードいただけます。

ぜひ、チェックしてみてください。

また現在、今年度の本事業のパンフレットを作成中です。

事業パンフレットには、今年度アドバイザーとして任命した個人、団体の簡単なプロフィールも記載しております。

近日中にこちらのサイトの子供の居場所づくりアドバイザーページに掲載予定ですので、アドバイザー派遣を利用する際などの参考にご確認いただければと思います。

アドバイザー派遣事業についての説明は以上となります。

本日ご紹介したアドバイザー派遣制度を活用して、ぜひ、厳しい状況下にいる子供たちの力になっていただけると幸いです。

もちろん、皆様の無理のないように、持続的な運営活動をお願いいたします。

本日はご参加いただき、ありがとうございました。

それでは、皆様ご退出ください。

失礼いたします。